

令和5年(2023年)版 川端警察白書



京都府川端警察署

川端防犯協会・川端交通安全協会・川端暴力犯対策協議会

ご あ い さ つ

京都府川端警察署長

城石和久



はじめに、1月1日の北陸地方での令和6年能登半島地震の発災に際し、尊い生命を失われた方に対し謹んで哀悼の意を捧げるとともに、多くの被災された方に対し衷心からお見舞い申し上げます。

さて、この度、令和5年の川端警察署の活動をまとめた「令和5年版川端警察白書」の発刊に当たり、署員を代表してご挨拶申し上げます。

令和2年初頭から全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日をもって、感染症法上の分類が2類から5類に移行しました。

これにより、日常生活の在り方もコロナ前に戻りつつありますが、他方で季節性のインフルエンザが拡大するなど、油断できない日々が続いております。

当署管内は古都京都の中でも、歴史・文化・学術が融合し、旧来の住宅地と学生街、著名な観光地が混在する、非常に重要な地域であります。昨今では、円安によるインバウンド旅行者の急増や中学高校の修学旅行の国内回帰により、非常に多くの観光客が当署管内を訪れました。

人の流れが増えれば、それに伴い犯罪や交通事故も増加する傾向にあります。

コロナ期間中に減少したこれらの統計数値は、昨年では一部の指標を除き、おおむね増加傾向を示しております。

また、複雑巧妙化する特殊詐欺や、闇バイト等を入り口とした組織的な凶悪犯罪の取締り、新型モビリティの本格普及への対策、自転車マナーの向上等、警察が主体的となって取り組むべき新たな課題も発現しております。

さらには、冒頭で言及した自然災害や、1月2日に羽田空港で発生した航空機事故等、突発かつ重大な事件事故・災害へも、適切に対処しなければなりません。

川端警察署では、署員が一丸となって総合力を発揮し、他の行政機関や民間団体等と緊密に連携して、これらの現状に的確に対処し、地域住民や観光客の安全安心をより高い次元で実現するものであります。

関係各位におかれては、今後とも当署の警察活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、巻頭の挨拶とさせていただきます。

令和6年2月

犯罪の発生状況（令和5年中）

■ 過去5年の当署管内の刑法犯認知状況

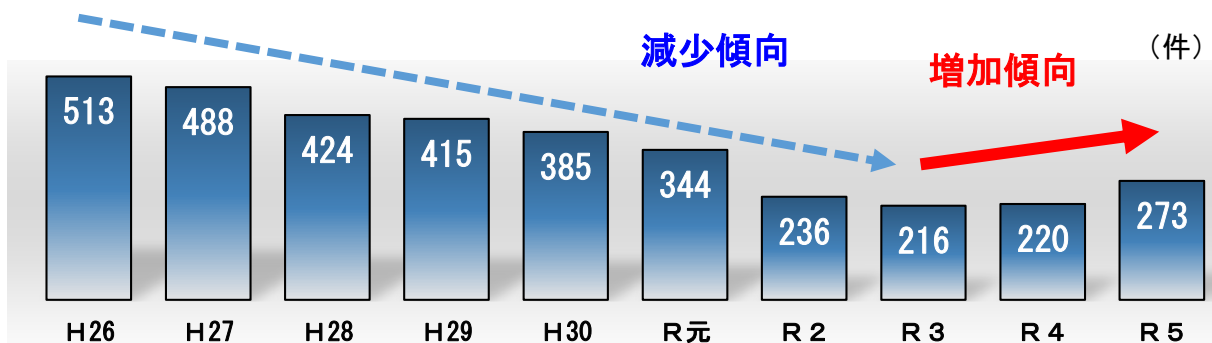
(件)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
刑法犯総数	344	236	216	220	273
凶悪犯 ※注1	0	2	1	2	2
粗暴犯（暴行、傷害等）	11	12	8	13	7
窃盗犯	270	186	161	158	216
侵入盗	8	11	5	5	2
乗物盗	188	103	78	99	157
自転車盗	175	98	73	96	153
その他	13	5	5	3	4
非侵入盗	74	72	78	54	57
ひったくり	0	0	0	0	0
車上ねらい	12	12	16	15	2
万引き	20	18	19	8	17
その他	32	42	43	31	38
知能犯	9	10	14	5	13
風俗犯 ※注2	1	3	6	2	2
その他刑法犯	53	23	26	40	33

注1：凶悪犯とは、殺人、強盗、放火、強制性交等をいう。注2：風俗犯とは、賭博、わいせつをいう。

- 当署管内での昨年中の刑法犯認知件数は273件で、令和4年と比較して53件、24.1パーセント増加しました。
- 京都府内での昨年中の刑法犯認知件数は11,887件で、令和4年と比較して1,309件、12.4パーセント増加しました。
- 当署管内での昨年中の特殊詐欺は3件発生し、令和4年と比較して2件減少しました。

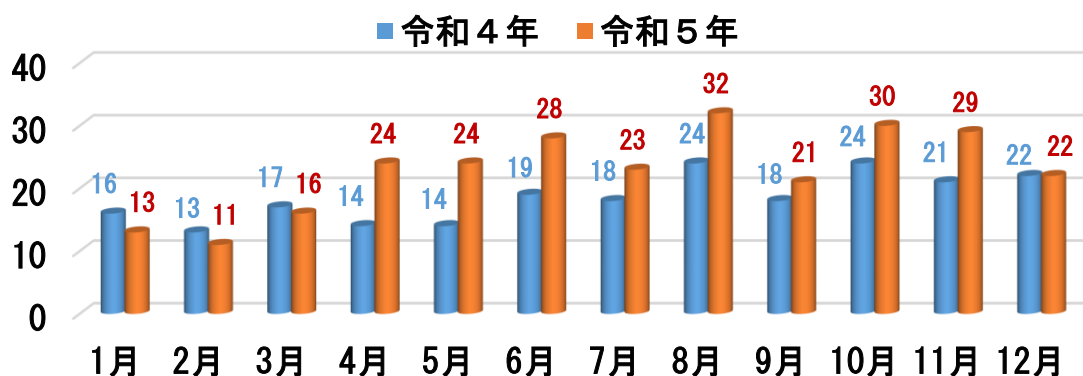
■ 当署管内の刑法犯認知件数の過去10年間の推移



- 当署の刑法犯認知件数は、平成後期から徐々に減少傾向にありましたが、コロナ2年目の令和3年を底に増加に転じております。
平成16年のピーク時（1,353件）と比較すると、約20.2パーセントとなりました。

令和5年中の当署管内の刑法犯認知件数の月別推移

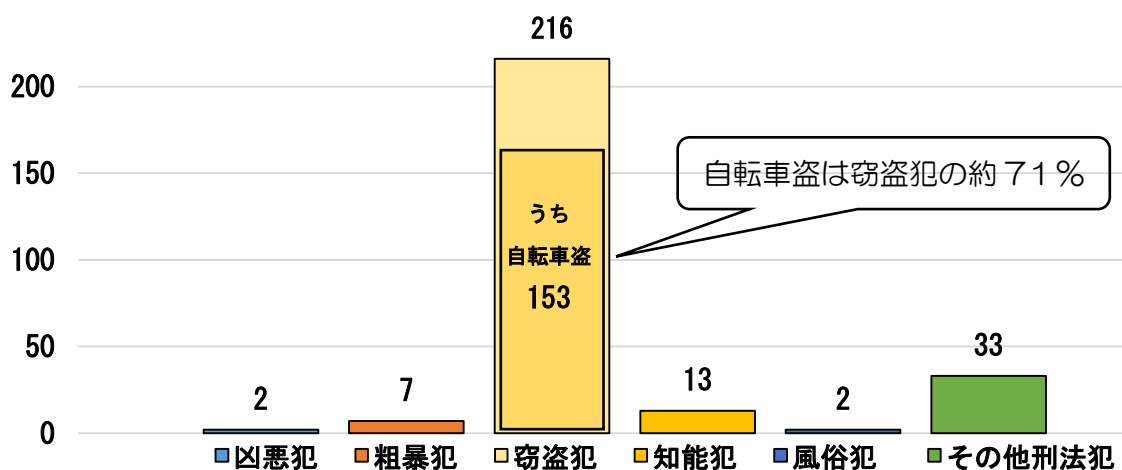
(件)



○ 当署の刑法犯認知件数は、コロナ感染が本格的に収束し始めた令和5年春以降の毎月で増加傾向を示しました。

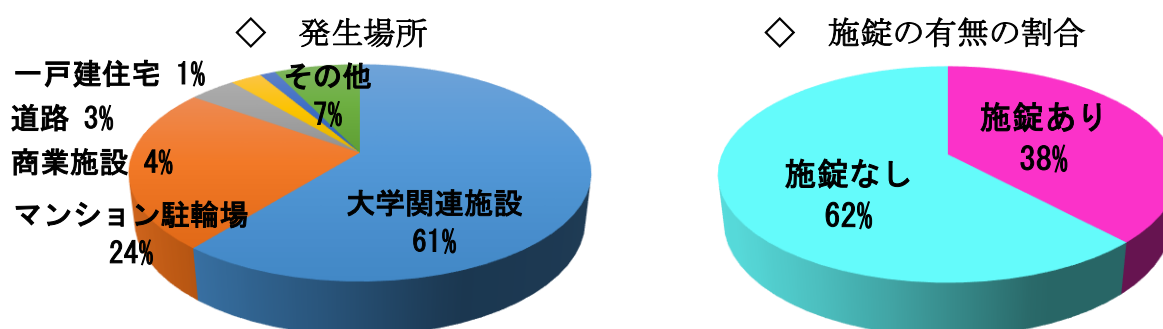
令和5年中の当署管内の犯罪情勢（罪種別）

(件)



○ 刑法犯認知件数のうち、窃盗犯が全体の約79パーセントを占め、そのうち自転車盗が窃盗犯の約73パーセントを占めています。

令和5年中の当署管内の自転車盗被害の特徴



- 自転車盗は、大学関連施設やマンション駐輪場で多く発生しています。
- 自転車盗の60パーセント強は無施錠で被害に遭っています。
- 被害者の約75パーセントは学生・生徒でした。

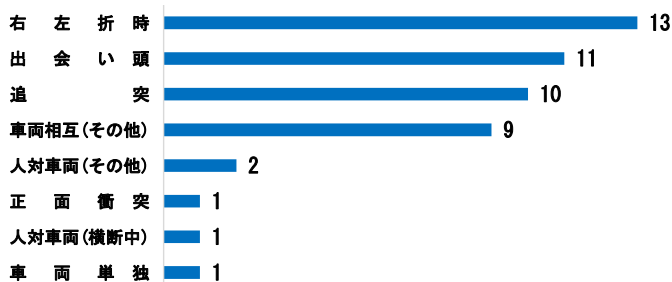
交通事故の発生状況（令和5年中）

■ 当初管内の交通事故発生件数、死者数、負傷者数

区分/年別	川端警察署			京都府内		
	令和4年	令和5年	前年比	令和4年	令和5年	前年比
発生件数	59件	48件	-11件	3,810件	4,067件	+257件
死者数	0人	1人	+1人	45人	59人	+14人
負傷者数	67人	52人	-15人	4,413人	4,668人	+255人

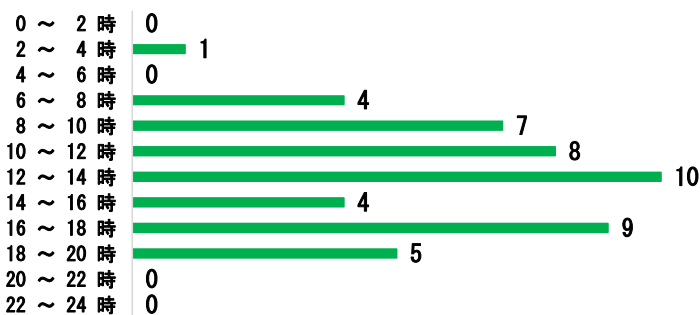
昨年の京都府内の交通事故（人身事故）の発生状況は、対前年比で発生件数、死傷者数、負傷者ともに増加しました。当署管内では発生件数、負傷者数はともに減少しましたが、1月12日に約4年ぶりの交通死亡事故が発生しました。

■ 当署管内の交通事故の特徴



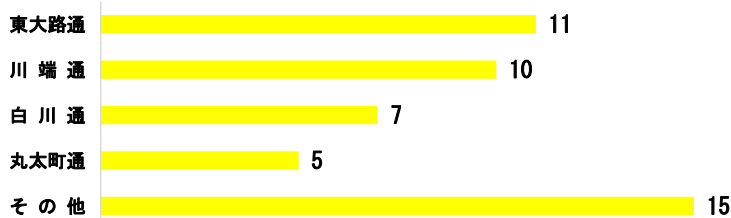
① 事故類型（件）

交差点関連事故が上位を占め、右左折時と出会い頭の交通事故が全体の半数となりました。



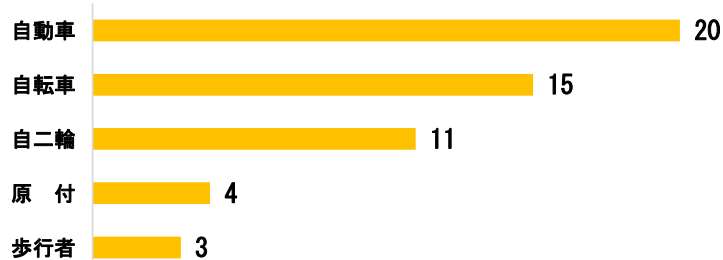
② 発生時間帯（件）

昼間帯の発生がほとんどを占めます。特に午後と宵の口の時間帯に多く発生しました。



③ 路線別発生件数（件）

東大路通が11件で最も多く、主要幹線道路（丸太町通、川端通、白川通、東大路通）での発生が、全体の約7割（69パーセント）を占めました。



④ 状態別死傷者数（人）

自動車乗車中の負傷者が20人で最も多く、全体の約4割（38パーセント）を占めました。

様々な団体との協働活動・啓発活動



4年ぶりの川端防犯協会総会の開催



川端防犯推進委員連絡協議会との協働啓発活動



地域交通安全活動推進委員の委嘱式



地域交通安全活動推進委員との協働啓発活動



川端少年補導委員会主催による管内小中学生作成の防犯ポスターの審査会と優秀作品の表彰式





川端平安レディース（女性による防犯ボランティア）と協働での子供向け防犯活動



交番での府民協働防犯ステーション活動（共同パトロール）



交番での府民協働防犯ステーション活動（自転車防犯活動）



管内施設や学校と連携しての不審者対応訓練



金戒光明寺と協働での被害者支援
ひまわりの植栽



白河総合支援学校と協働でのビュー
ティフルウインドウズ事業

防犯・交通安全教室



未就学児・幼稚園児に対する防犯・交通安全教室



小学生に対する防犯・交通安全教室





中学生・高校生に対する防犯・交通安全教室



外国人留学生等に対する防犯・交通安全教室



高齢者に対する特殊詐欺防犯・交通安全教室



警戒警備・その他の活動



京都市はたちを祝う記念式典での警備



京都マラソンでの交通規制



祭礼の雑踏警備（吉田神社節分祭）



祭礼の雑踏警備（時代祭）



山岳遭難者救助訓練



南禅寺交番の改築に伴う落成式



災害対応訓練



逮捕術訓練



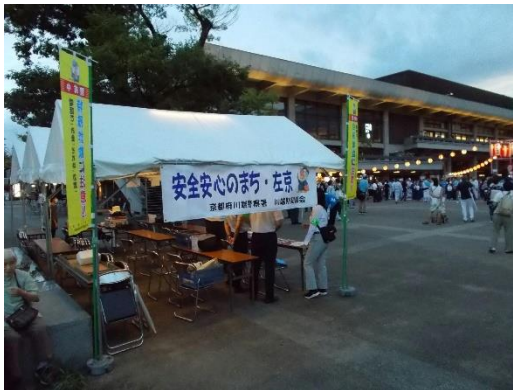
武道（剣道）訓練



小学校での警察装備品の展示



幼稚園児の警察署訪問



イベント会場での啓発活動
(江州音頭フェスティバル)



イベント会場での啓発活動
(吉田区民夏祭り)



東山警察署との共同活動
(「110番の日」広報啓発)



下鴨警察署との共同活動
(秋の全国交通安全運動関連行事)



(公社) 京都犯罪被害者支援センター
への募金の贈呈



被害者遺族講演会の実施

当署作成の部外広報資料



南禅寺交番だより
(令和5年12月)



交番速報
(令和5年4月)



川端地域安全ニュース
(令和5年5月)

小中学生による防犯ポスター優秀作品

※ 本書5ページ下段に関連記事掲載



左京区長賞
(小学校2年生)



川端警察署長賞
(中学校2年生)

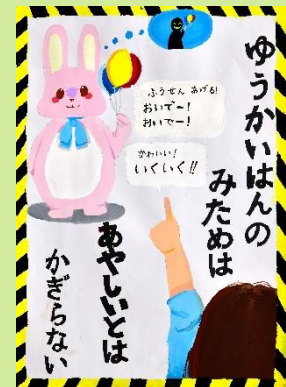


左京少年補導委員会会長賞
(小学校3年生)

川端警察署・交番ご案内

川端警察署（代表）	771-0110	黒谷交番	771-0032
岡崎公園交番	771-0166	東一条交番	771-0169
南禅寺交番	771-0033	銀閣寺交番	771-0167

小中学生による防犯ポスター入選作品



京都府警察スローガン

千年を守る 未来を創る